

第10回 千曲市総合計画審議会 議事録

日時 平成29年2月7日(火) 午後1時30分

会場 戸倉創造館大ホール

1. 開会

<開会のあいさつ>

2. 審議会長あいさつ

<会長あいさつ>

3. 会議事項

(1) パブリックコメント、まちづくり懇談会、議会からの要望について

<事務局より説明>

委員：子育てに関わる経済的負担の軽減を位置付けるとのことだが、3歳くらいまでは子育てを全面的に支援していくことはできないか。働くことも大事だが、子どもを産み、育てたいという希望を持っている方が大勢いる。そういう人にはお金で支援するのが一番いいのではないかと思うので、検討願いたい。

総合政策担当部長：子育てに関しては、今まで部会の中でも相当議論をいただいている。案としては、基本計画のページでいうと、特に31～32ページにかけて子育て負担にかかる部分をまとめてあるが、医療費については「子育て」の部分ではなく、福祉医療という形で「健康福祉」の部分にあった。子育ての部分には特に記載していなかったことから、今回追加した。あくまでも子育ての支援をするという立場でまとめた中の一項目ということでご理解をいただきたい。

企画政策部長：同じく32ページに「(2) 児童を養育している家庭に児童手当を、子どもを扶養しているひとり親家庭に児童扶養手当を……」と位置付けている。国もひとり親の手当について増額するとしている。それから施策項目の一つとして「経済的な困窮が次世代に連鎖しないよう、ひとり親家庭などの子どもを対象とした学習支援や子ども食堂など、居場所づくりに取り組みます」とあるが、28年度の協働提案制度で市民団体に「子どもの居場所」「ひとり親の子どもさんたちの支援」を投げかけたところ、3つのNPO法人、市民団体から市内3か所で、こういったことを行いたいと提案があった。市と一緒に29年度から事業展開できることになっている。

委員：高齢者からの視点から見れば、どこの施設にも入れない人や身寄りがいない人がこれから相当増えてくると思う。施策の中にも出てきたと思うが、地域で

支えて、高齢者が一人で住んでも安心できるコミュニティづくり、地域づくりに取り組んでほしい。

総合政策担当部長：ただ今の部分は、基本計画のページでいうと62ページの高齢者福祉の関係で、3-4-2の施策の中に、「高齢者の自立した生活を支援する」という項目を設けている。

委員：高齢者福祉について、一人暮らしの高齢者が病気になった時の受け皿は、地域でやるのが一番いいと思うが、そういう形にはまだまだ程遠い。高齢者を見守れる環境づくりにもっと取り組んでほしい。

総合政策担当部長：今の意見の観点は、61ページ、施策の基本方針の中に、「住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築により……」と位置付け、取り組んでいくので、ご理解いただきたい。

委員：承知した。一般の人は知らない制度などが多いと思う。行政がやっているサービスをもっとPRしてもらいたい。

会長：その他にあるか。

最初の事務局説明の部分を修正して、最終の基本計画案として取りまとめるので、よろしく願いたい。

(2) まちづくりの達成状況を図る目安（成果指標）について

<事務局より説明>

会長：前回も説明があった部分だが、いかがか。

委員：指標に上がっている項目ではないが、「子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる」という達成方針に関連して伺いたい。更埴西中学校の前に佐野川という川があるが、そこに自転車を通れる橋を作ると聞いた。非常に便利になるが、橋は校内に直接繋がってしまい、安全・セキュリティの関係から非常に不安を覚えた。そのことに関して教えてほしい。

企画政策部長：更埴西中学校は災害時の緊急避難場所になっているため、地区の避難路の確保、また子どもたちの通学路の確保ということで橋の建設が計画されている。橋の建設は、地元の皆さんと積み上げてきた中で、あの場所だという話になっている。校内のセキュリティについては、教育委員会に確認していきたい。

委員：それぞれ年度ごとの目標はあるのか。また、目標値は数値化できるものとのことだが、重要度を捉えているのか、それとも数値可能な項目という捉え方で項目を設定したのか。

企画政策部長：事業の性格により、年度ごとに数値を把握できるものもできないものがあるで、年度ごとの目標値は出していない。

項目の設定については、数値化できるものと努力目標的な部分になってしま

うものが混在している。

委員：創生戦略の「KPI」の数値や第二次総合計画の年度の整合性がないといけない。私が拝見する限り、整合性が取れており、努力されていると思う。

委員：「人権平和」について、人権教育の参加人数だと思うが、この達成目標値は何を根拠に出されたのか教えてほしい。もう少し何らかの努力が必要ではないか。

企画政策部長：各区で2～5名ぐらい増やせば達成する目標値である。「もう少し努力するように」というご意見を担当課に報告する。

(3)「財政計画」の基本的な考え方について

会長：それでは次の(3)「財政計画」の基本的な考え方について説明願いたい。

＜事務局より説明＞

会長：今の説明について、いかがか。

委員：考え方に「行政改革による事務事業の見直し、効率化を図り継続的に経費削減を進めます」とあるが、物件費に行革の数字を反映していないのではないか。毎年4億円ほど落としてくという推計を部会で聞いた覚えがある。また、市の所有物件等の統廃合はこの数字で表れているのか。

財政係長：物件費に行革は反映している。現在、行政改革大綱に基づいて「特別対策プラン第四次」を実行しており、その計画に基づく予算編成が先日終わった。平成29年度については約6,800万円、30年度については2,300万円、31年度については1億2,300万円の減額ということで物件費、人件費、補助費を見込んでいる。計画によると前期後期合わせて、9億1,800万円の行革計画を「特別対策プラン」で組んでおり、平成27年度決算までは概ね計画通りに進んでいる。

もう一点について、市では、公共施設総合管理計画を平成27年度に策定している。今年度については、個別の施設の再編計画を策定している最中である。個別の施設の統廃合については、この計画にはまだ具体的には出てこない。取り壊せる施設が決まるかどうかで、そうなると、さらなるスケールメリットが出てくるとは思うが、現時点では新庁舎が完成したというスケールメリットだけ見込んでいる。平成34年度以降の計画には、施設ごとの再編計画が入ってくると考えている。

委員：人件費をほぼ横ばいで捉えているが、多分人数もそう増やさないとということなのであろう。市からの業務委託は相当な金額あると思う。本来、市がやらなければいけないものを業務委託するわけだが、職員がやるのとどっちがコスト的に安いのかなど検討しているのか。

財政係長：平成29年度の予算編成では、その件についてだいぶ議論した。まず、委託で

はなく、職員ができないかという観点で予算査定をやる。当然、職員ができるものは職員でやりましょうということで、委託料については予算から落とされている。ただし、専門的な知識が必要なものなどは委託へ出さざるを得ない。委託料は、そういう取捨選択をしながら、費用対効果を考える中で予算付けしているので、行革も含めて配慮した予算編成、財政計画になっている。

(4) 千曲市総合計画「基本構想(案)・基本計画(案)」に係る答申内容について

会 長 : では、最後の(4)に入る。最終答申について事務局から説明願いたい。

＜事務局より説明＞

会 長 : ただ今の説明について、いかがか。

特にご意見がないということなので、この答申案で審議会として確認させていただきたい。

予定では来週もう一度、審議会が入っていたが、ただ今、答申案を確認したので、後日、私と副会長で市長に答申したいと思う。

それでは審議会としてはこれで最終となる。

4. その他

総合政策担当部長：事務局から一点あるので、よろしく願いたい。

政策推進係長：先ほど会長から説明があつたが、2月13日に会長、副会長の2名で市長に答申するというので願いたい。答申書の写しと最終的な「基本構想」「基本計画」は後日送付させて頂きたい。

第二次総合計画は29年度からのスタートだが、最終的な冊子の印刷については来年度予算での対応となっている。市民の皆さんにはダイジェスト版を全戸配布し、周知して参りたい。審議会の皆様には、通常版を用意し、送付させていただく。

5. 閉会

＜企画政策部長より閉会とお礼のあいさつ＞